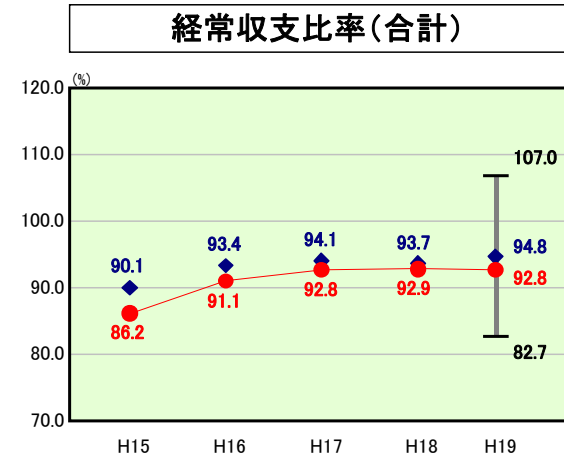


歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

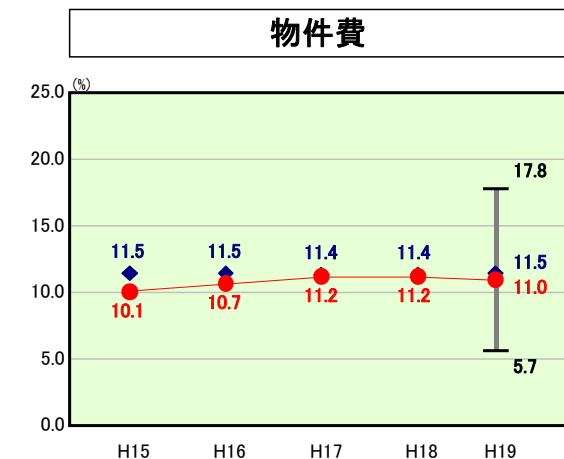
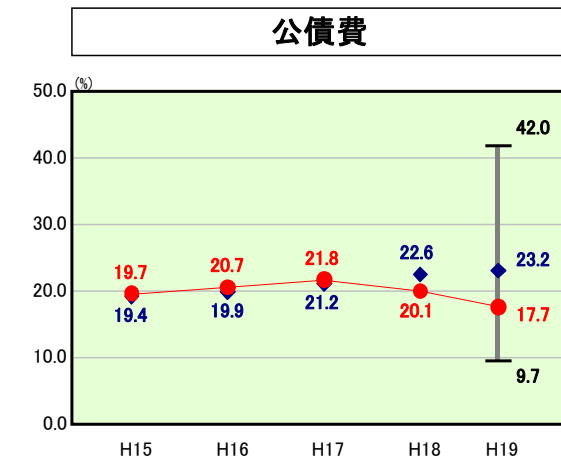
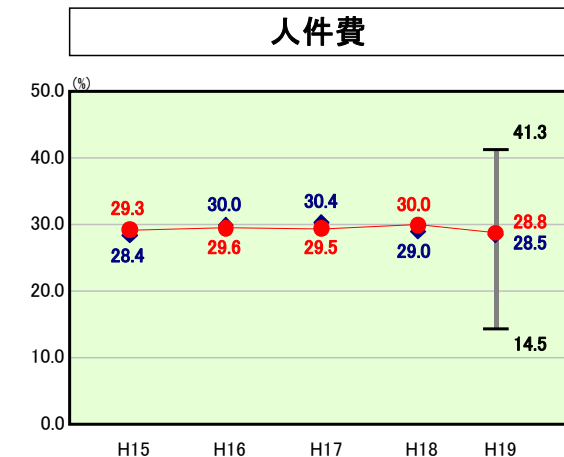
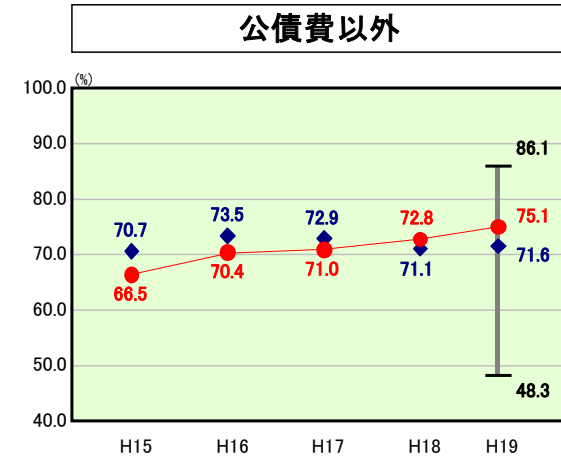
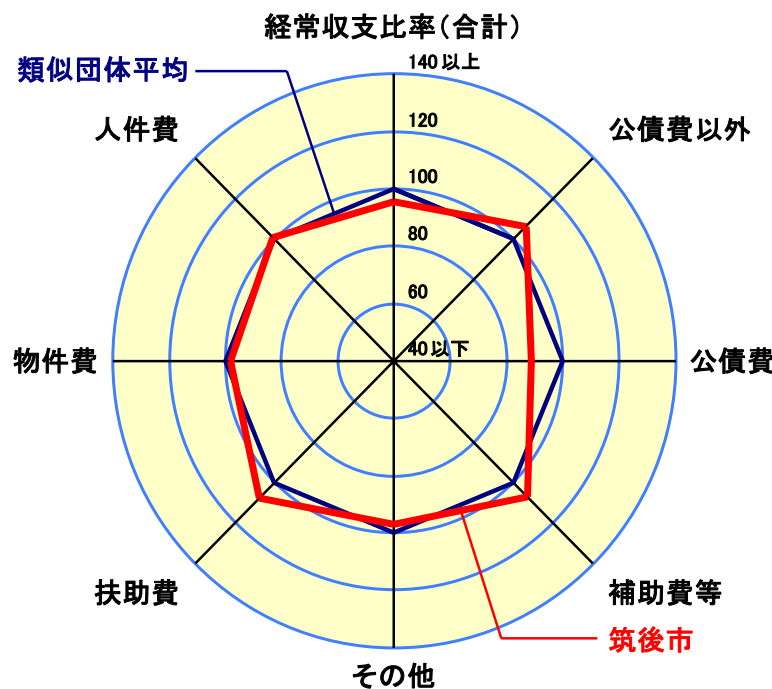
福岡県 筑後市

経常収支比率の分析



当該団体値 ●
 類似団体内平均値 ◆
 類似団体内最大値 ▸
 類似団体内最小値 ▾

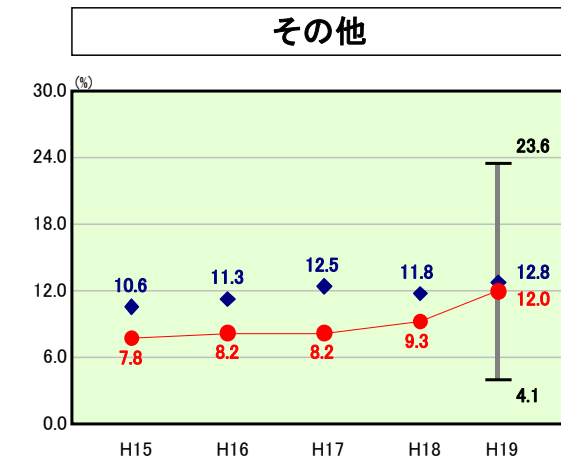
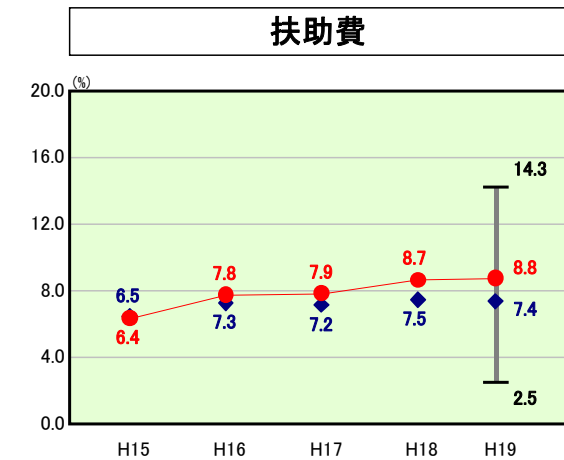
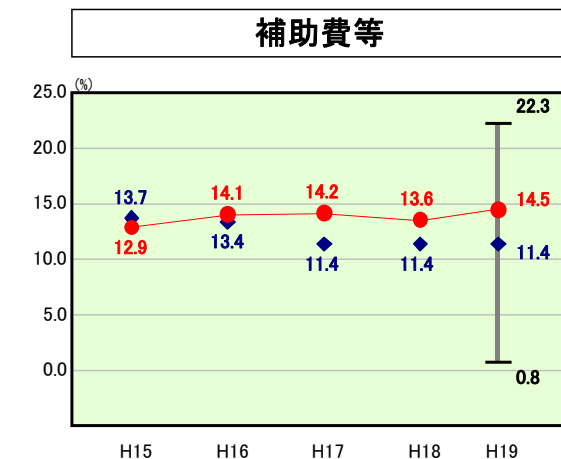
| | |
|------|-----------------------|
| 人口 | 48,560人(H20.3.31現在) |
| 面積 | 41.85 km ² |
| 歳入総額 | 14,421,683千円 |
| 歳出総額 | 14,041,504千円 |
| 実質収支 | 299,425千円 |



※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
 ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
 ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

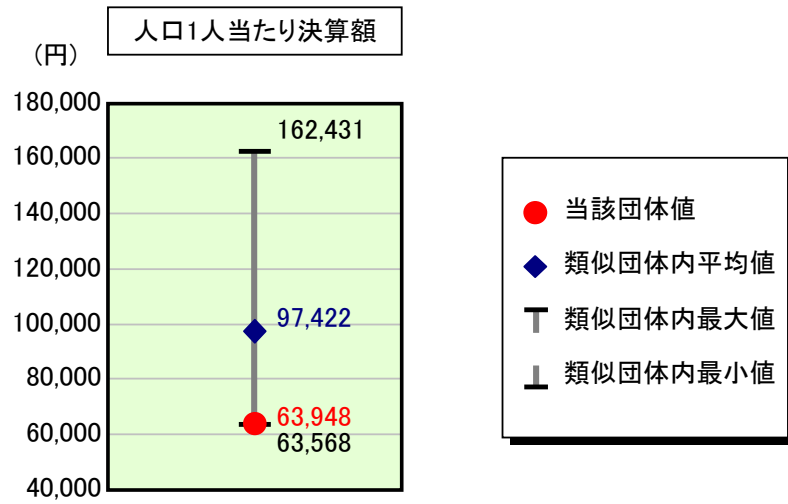
- 人件費
前年度は定年退職者が多かったため上昇したが、今年度は減少している。「集中改革プラン」や「財政健全化計画」により平成17～21年度で40人の人員削減に取り組んでおり、退職手当以外は順調に削減してきている。
- 扶助費
生活保護費は減少したが、障害者自立支援費や法改正による児童手当の増などにより全体的に増加している。
- 公債費
平成17年度及び平成18年度に実施した繰上償還の効果により大きく減少している。今後は、九州新幹線筑後船小屋駅関連事業などの大規模事業が予定されているが、普通建設事業全体で市債発行額を極力抑制していく必要がある。
- 補助費等
補助費等に係る経常収支比率が類似団体と比較して高いのは、土地改良事業への元利償還金助成や病院事業会計繰出金、一部事務組合負担金などがその要因である。
- その他
その他に係る経常収支比率が増加した要因は、老人保健特別会計や国民健康保険特別会計への繰出金が増加したためである。
- 普通建設事業費
「集中改革プラン」や「財政健全化計画」に基づき普通建設事業費を抑制してきたため類似団体と比較して人口一人当たり決算額は低くなっている。今後は、九州新幹線筑後船小屋駅関連事業や学校等の耐震化事業などにより増加する見込みである。



歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福岡県 筑後市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

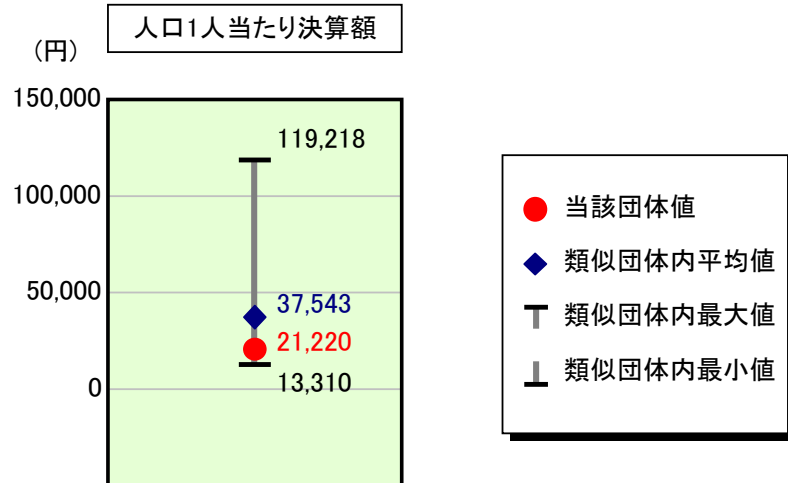
| 項目 | 当該団体決算額 (千円) | 人口1人当たり決算額 | | 対比 (%) |
|-------------------------------|-----------------|------------|------------|--------|
| | | 当該団体 (円) | 類似団体平均 (円) | |
| 人件費 | 3,329,377 | 68,562 | 89,029 | ▲ 23.0 |
| 賃金(物件費) | 125,773 | 2,590 | 4,561 | ▲ 43.2 |
| 一部事務組合負担金(補助費等) | 47,504 | 978 | 9,909 | ▲ 90.1 |
| 公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等) | - | - | 465 | - |
| 公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金) | 11 | 0 | 0 | 0.0 |
| 公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金) | 162,145 | 3,339 | 3,488 | ▲ 4.3 |
| 事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費) | 28,610 | 589 | 1,823 | ▲ 67.7 |
| ▲退職金 | ▲ 588,112 | ▲ 12,111 | ▲ 11,853 | 2.2 |
| 合計 | 3,105,308 | 63,948 | 97,422 | ▲ 34.4 |

参考

| 項目 | 当該団体 | 類似団体平均 | 対比(差引) |
|-------------------|-------|--------|--------|
| 人口1,000人当たり職員数(人) | 6.55 | 9.75 | ▲ 3.20 |
| ラスパイレス指数 | 101.8 | 95.6 | 6.2 |

ラスパイレス指数及び職員数に係る項目については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである(以降の項目について同じ。)。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目を「-」としている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

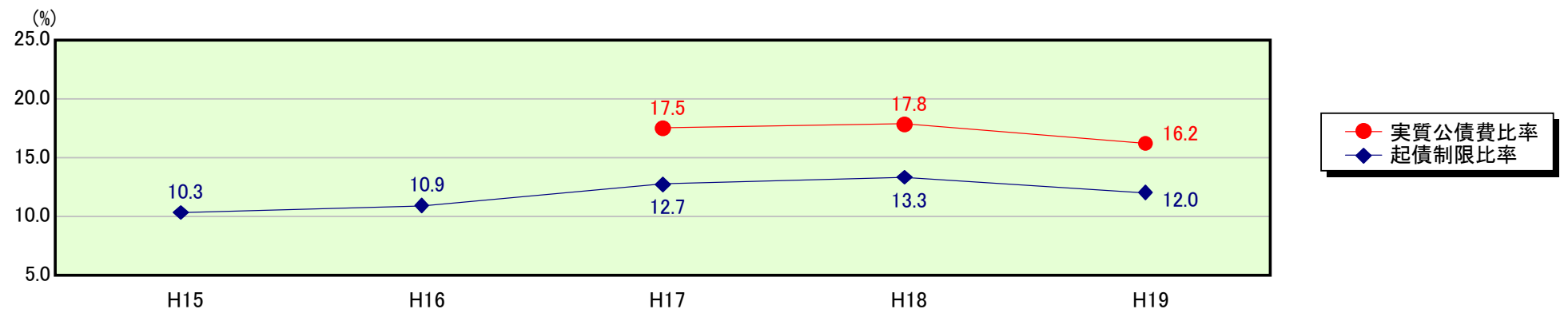


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

| 項目 | 当該団体決算額 (千円) | 人口1人当たり決算額 | | 対比 (%) |
|---|-----------------|------------|------------|--------|
| | | 当該団体 (円) | 類似団体平均 (円) | |
| 公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。) | 1,644,316 | 33,862 | 60,275 | ▲ 43.8 |
| 満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等 | - | - | 34 | - |
| 公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金 | 442,837 | 9,119 | 14,851 | ▲ 38.6 |
| 一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額 | 216,692 | 4,462 | 4,562 | ▲ 2.2 |
| 債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額 | 141,238 | 2,909 | 2,366 | 23.0 |
| 一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く) | - | - | 39 | - |
| ▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額 | ▲ 1,414,657 | ▲ 29,132 | ▲ 44,584 | ▲ 34.7 |
| 合計 | 1,030,426 | 21,220 | 37,543 | ▲ 43.5 |

平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、「-」としている(以降の項目について同じ。)

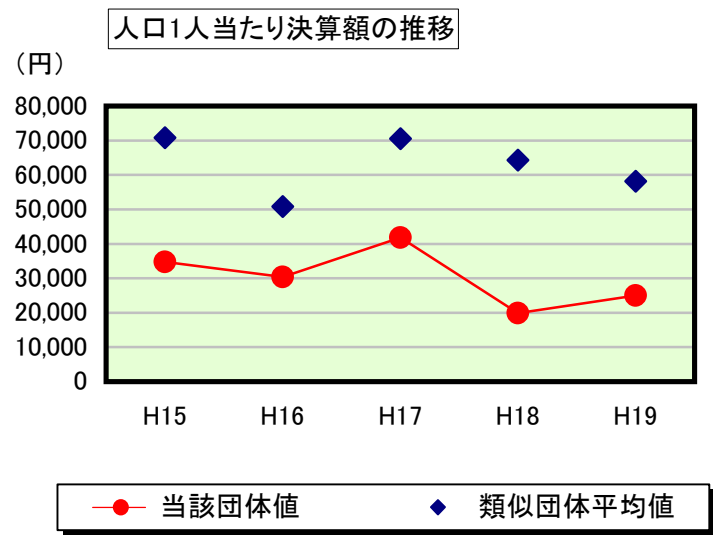
※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福岡県 筑後市

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

| | 当該団体決算額 (千円) | 人口1人当たり決算額 | | | | |
|---------|-----------------|------------|------------|-----------|------------|---------|
| | | 当該団体(円) | 増減率(%) (A) | 類似団体平均(円) | 増減率(%) (B) | (A)-(B) |
| H15 | 1,660,582 | 34,742 | ▲ 19.9 | 70,792 | ▲ 6.3 | ▲ 13.6 |
| うち単独分 | 1,517,873 | 31,756 | ▲ 14.3 | 40,777 | ▲ 3.2 | ▲ 11.1 |
| H16 | 1,458,505 | 30,389 | ▲ 12.5 | 50,864 | ▲ 28.2 | 15.7 |
| うち単独分 | 1,271,140 | 26,485 | ▲ 16.6 | 30,101 | ▲ 26.2 | 9.6 |
| H17 | 2,015,371 | 41,808 | 37.6 | 70,563 | 38.7 | ▲ 1.1 |
| うち単独分 | 1,676,383 | 34,776 | 31.3 | 38,225 | 27.0 | 4.3 |
| H18 | 961,651 | 19,858 | ▲ 52.5 | 64,305 | ▲ 8.9 | ▲ 43.6 |
| うち単独分 | 631,018 | 13,031 | ▲ 62.5 | 34,136 | ▲ 10.7 | ▲ 51.8 |
| H19 | 1,214,449 | 25,009 | 25.9 | 58,137 | ▲ 9.6 | 35.5 |
| うち単独分 | 635,038 | 13,077 | 0.4 | 29,406 | ▲ 13.9 | 14.3 |
| 過去5年間平均 | 1,462,112 | 30,361 | ▲ 4.3 | 62,932 | ▲ 2.9 | ▲ 1.4 |
| うち単独分 | 1,146,290 | 23,825 | ▲ 12.3 | 34,529 | ▲ 5.4 | ▲ 6.9 |